

健康食品としても注目を浴びる 米粉を使った料理を学ぶ



▲ 米粉のお好み焼きや唐揚げを作る部員ら

JA女性部二ツ井支部は7月1日、二ツ井公民館にてリーダー研修会を開催しました。多くの部会員が参加し、平成23年度事業について説明が行われたほか、様々な料理の講習会も行われました。

講習会では、JAから『米粉のクリームシチュー』『米粉のお好み焼き』『米粉の鶏のから揚げ』『ニョッキ』など、米粉を使った4種類の料理が紹介されました。米粉は低カロリーで高アミノ酸、また油の吸収率が低く抑えられるということで、近年健康食品としても注目を集めています。部会員らは紹介された料理を作って試食を行い、交流を深めていました。

グラウンドゴルフで親睦を深め合う 桜田節子さんが2度目の優勝



▲ 楽しくプレーを行う会員の方々

JA年金友の会による第9回グラウンドゴルフ大会が7月12日、大湊村多目的運動公園で開催され、晴天のもと会員らがプレーを楽しみました。

はじめに大高勝視副会長が「グラウンドゴルフ大会を通じて会員同士で交流を深め、楽しんでプレーしましょう」と挨拶。その後競技が開始され、会員らが真剣に、また楽しみながらプレーを行いました。

今大会の優勝は全てのホールで高スコアを記録した、二ツ井町切石の桜田 節子さん。「優勝できて、本当に嬉しいです。それにたくさんの人と交流できたので、とても楽しい1日でした。」と喜びを語ってくれました。

小ナスの収穫を間近に控え 小ナス目揃会を開催



▲ 出荷を控えた農家自慢の小ナス

JAあきた白神小ナス部会（佐藤弘部会）は7月9日、収穫・出荷の最盛期に備えて、小ナス目揃会をJA二ツ井営農センターで開催しました。

目揃会には生産者8名が参加。はじめに佐藤部会長が「部会で出荷規格の統一を図り、今後も栽培講習会や他産地での栽培研修を通じて、栽培技術の向上と収量増加を目指す。」と挨拶。またJA担当者からは出荷規格と、小ナスの生育状況について説明が行われました。

その後、生産者らは当日出荷された小ナスを見て回り、今年の小ナスの出来を確認するとともに、互いの生育状況について情報交換を行いました。

地域の絆を守り続ける 二ツ井町種地区の『エプロン会』



▲ 50周年を祝うエプロン会会員の方々

能代市二ツ井町の種公民館で7月1日、地元女性組織『エプロン会』の設立50周年を祝う催しが行われ、会員らが交流を深めました。

現在、エプロン会の会員は20名。はじめは『若妻会』として発足し、農繁期に集まって情報交換を行ったり、生活指導員を招いて子育て講習会を行うなど、地元の女性たちにとってなくてはならない存在です。

代表を務める茂内文子さんは「この会があったから、辛いことも、楽しいことも皆で分かち合い、乗り越えることができました。60周年を迎えられるよう健康に留意して、これからも地域に貢献していきたい。」と話しました。